



## 「スポーツフェスティバル 2024」応援ありがとうございました

□ 9月28日(土)、気温などのコンディションにも恵まれ、「スポーツフェスティバル 2024」を無事に開催することができました。コロナ前の運動会以来、全校生での開催は5年ぶりとなったスポーツフェスティバル。PTAの皆様にご協力いただいたおかげで、学校にあるテントを全て設置し、すばらしい会場ができあがりました。予想以上のご来場をいただいた会場は壮観でした。子どもたちは1回きりの本番に、これまでの努力と成長のすべてを注いでがんばりました。



□ すべてのプログラムで、子どもたちはこれまでの練習をしのご最高のパフォーマンスを発揮しました。こんなにもたくさんの方に見守られたスポーツフェスティバル。拍手、手拍子、あたたかい応援、まなざし。最高の環境の中で、子どもたちが本気にならないはずはないのだと思います。このように見守られ、評価していただける場が、子どもたちをさらに成長させることを実感しました。子どもたちに



とっても、そして私たち教員にとっても、最高に幸せな時間だったなと思います。ご来場いただいた皆さんにも、少しでも幸せを感じていただければうれしいです。

□ また、全校生で開催することで、発達段階に応じた子どもたちの成長ぶりも感じていただけたのではないかと思います。今回の表現運動を見ていただいても、いちばん可愛らしく感じられたのは1年生の演技だったでしょうし、いちばん凛々しく感じられたのは6年生の演技だったのではないのでしょうか。子どもたちが学年を追うごとに歩を進めながら確かな成長を遂げていくことが感じられたことと思います。

□ 多数のご来場と温かな応援に、心より感謝申し上げます。スポーツフェスティバルの成果が今後につながるよう、2学期の教育活動を進めてまいります。

### 【開催後の保護者アンケートについて】

各プログラムでの子どもたちの様子については「全校生徒1人1人が一生懸命に競技に取り組む姿に感動しました」等の感想から、がんばりを讃え、満足していただけた手応えを感じています。また、全校生での開催についても「子どもたちにとっても、他学年の子たちの頑張りを見たり、拍手をして応援したりする経験ができたことは意義深いことでした」等、肯定的な意見や感想をいただきました。改善を要する点としては、以下のようなご意見をいただいています。

- ・会場準備、開場時刻の通知について
- ・音響設備の改善
- ・会場が一体化する取組
- ・観覧席の改善
- ・プログラムにおける安全の確保
- ・熱中症対策
- 等

学校としても久しぶりの全校実施でしたので、参観席等、皆様に不便をおかけすることもあったかと思えます。賜ったご意見を吟味しながら、行事の改善に役立てていきます。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

## ■ やっぷー・やっぴーと睡眠について学びました 10月6日

「ねるねるウィーク」を前に、全校生（広谷こども園の園児もいっしょに）で睡眠について学ぶ会を行いました。その会に特別ゲストとして、やっぷーとやっぴーが登場し、子どもたちは大喜びでした。保健委員会の児童は、やっぷー・やっぴーとコラボして、睡眠の大切さを伝える劇やクイズをしてくれました。「深い眠りからもらえる4つのプレゼント」等について、子どもたちは楽しく学ぶことができました。1学期の読み聞かせでの「かなしきデブ猫ちゃん」マルの登場に続いて、今年度は人気キャラクターがたくさん広谷小学校を訪れてくれています。



やっぷー・やっぴーと保健委員会による劇

## ■ 外部機関を活用した学び【4年生】 10月9日・11日

4年生社会科「自然災害から命を守る」の単元では、外部機関を活用した学習により、学びを深めています。9日には豊岡土木事務所と養父土木事務所から出前講座に来ていただき”総合治水”について学びました。総合治水模型を使っての実験も見せていただきました。また、11日には養父市防災安全課の方から、自分たちの安全を守るためにすべきことを教えていただきました。専門家から学ぶことは、子どもの興味や好奇心を喚起したり、実社会とのつながりを実感したりという効果があります。社会に開かれた学びとしていくために、効果的に外部機関との連携を図っていきます。



総合治水模型にジョウロで雨を降らせて浸水の様子を調べました(9日)



防災ハザードマップを使って自宅の状況を調べました(11日)

## ■ 給食センターの見学【2年生】 10月10日

2年生は給食センターに見学に出かけ、毎日、自分たちが食べている給食がどのように作られているのかを学びました。給食センターのひみつを子どもたちは一生懸命観察しました。食の安全・安心を保つための様々なくふうをしておられることがわかりました今回の見学で、給食のおいしさがさらに身近に感じられるようになりました。これからも食のことを大切に考え、感謝の心を持ちながら給食をいただきたいものです。



1700人分の給食をつくる給食センター 使う道具も大きいです。

### 10月の全校朝会では

7年前に105歳で亡くなられた日野原重明先生(医師)の「いのちのおはなし」という絵本を紹介しました。この絵本の中で日野原先生は子どもたちに「いのちは、どこにあると思いますか?」とたずね、「わたしは、こう考えています」と話し始めます。「いのちとは、きみたちの持っている時間です。いま君たちは、どのようにでもつかえる自分の時間を持っている。時間を使うことは、いのちをつかうことです。これから生きていく時間。それがきみたちのいのちなんですよ」。

ちょっとドキッとのお話です。ダニエル・ブラスティンというアメリカの歴史家は『大発見』という本に「人は時間というものを見つけ出して、人間らしくなった。」と書いているそうです。確かに「時間」を意識できるのは人間だけかもしれませんが。昨日のことを引きずったり、明日のことに希望を見出したりしながら、人間は生きています。そんな大切な自分の時間を、自分のためだけでなく、誰かのために使ったり、みんなのために使ったりすることのねうちも含めて、よりよい“いのちの使い方”“時間の使い方”を子どもたちに意識させたいものです。